

関東学園大学 SDGs プロジェクトの活動を紹介します

本学では学生の運営による SDGs プロジェクトが発足し、さまざまな活動を行っています。現在の主な活動として、群馬県内で草ストローの認知・普及のための活動やイベントへの出店を行っています。プロジェクトの目的は、「脱プラスチック問題」や「海洋汚染問題」を解決に近づけることです。そのため、まずは環境、社会問題を認知してもらうことが大事だと考えています。草ストローを通じて、見ていただいた、買っていただいたお客様に少しでも問題を知ってもらう、興味関心をもってもらえるよう活動しています。今回は最近の2つの活動の様子を紹介します。

■ 桐生市の「あつまれ！SDGs」に出店、桐生市長と面会も。

10月31日（日）に桐生市新川公園にて行われたイベント「あつまれ！SDGs」（主催：一般社団法人きりゅう市民活動推進ネットワーク）に本学 SDGs プロジェクトが出店し、桐生市を中心とした NPO 法人や団体、高校の方々と交流。その際、桐生市役所を訪問する機会が得られ、11月15日（月）にリーダーの岸諒亮さんが荒木恵司市長と意見交換をさせていただきました。メンバー一同「今後の活動に弾みができました」と話しています。



「あつまれ！SDGs」出店の様子 桐生市荒木市長へ活動内容の説明

■ 渋川工業高校にて開催された「2030 ぐんま発 SDGs Action」の講演会に参加。

11月13日（土）に群馬県立渋川工業高校で開催された「2030 ぐんま発 SDGs Action」の講演会（実行委員会代表 秋山憲裕さん）に、プロジェクトリーダーの岸諒亮さん（経営学科2年）が参加しました。秋山さんは、「2030年までに SDGs を達成できないとどうなるのか」というテーマで講演され、続いて、岸さんがプロジェクトの活動内容を介绍。生徒さんには草ストローを手にとっていただきました。



渋川工業高校での活動紹介の様子 草ストローの現物を見ていただきました



SDGs プロジェクトメンバー

岸 諒亮 さん
グエンティ チェウリン さん
グエンティ タントウ さん

本学の外国人留学生二人の母国であるベトナムで流通している「草ストロー」を使った海洋環境問題の解決策について、プロジェクトとして事業展開を試みています。